

7月19日（1学期終業式講話）

## 「個」を鍛える夏に

山本迅君をはじめ生徒会役員のみなさん、今までお疲れ様でした。自分たちでアイデアを出し合い、自主的・主体的に学校行事などを企画し、口加高校をリードしてくれました。本当にありがとうございます。新しい生徒会を率いる高木佑宇祥君、綾部太一君、末績眞子さん、あとをよろしく。今年のキャッチフレーズ「口加で咲こうか！令和から始まる口加 New Generation!!」のとおり、一人一人が生き生きと学校生活を送り、人との比較ではなく「私」という花を咲かせることができる。そんな学校をみんなで作りましょう。私たち大人が気づかない生徒の視点で学校を見て、考えて、実行してください。一人では何もできませんが、一人が始めなければ何も始まりません。遠慮は要りません。思い切りやってください。

吹奏楽部のみなさん。いよいよその時がきました。これまで高校総体や野球の壮行式、福祉科の開科式典など、みんなの素晴らしい演奏で式典に花を添え、仲間を励ましてくれました。今度はみんなが主役です。大好きな楽器が演奏できる喜び、このメンバーで演奏できる幸せをかみしめ、伸び伸びと楽しく演奏してください。素人耳にも昨年の17名から5名増えていますので、音の重層感や迫力が違うのが分かりました。7月21日午前11時15分。課題曲のマーチ「エイプリル・リーフ」自由曲の「West Side Story Selections」の演奏で観客の心をわしづかみしてください。結果は自ずとついてくると信じています。

さて、先ほど報告をしてくれた野球部のみなさん。期待どおりに口加の勝利と口加の校歌から高校野球の新時代の幕が開きました。第1シードの長崎商業と選手権予選で戦えたことは今後のチーム作りに大いに生かされるものと思います。

今、チーム作りと言いましたが、野球は確かにチームスポーツです。しかし、試合を見ていて思ったことは、チームというのは結局、「個」の集まりだということです。ピッチャーは一人です。サードやセンターを守るのも一人です。バッターボックスに立つのも一人です。先ほど演奏してくれた吹奏楽部もそれぞれの楽器を演奏する「個」の集まりです。私たちはいろいろな集団に属して生活しています。家族、クラス、学年、部活動、職場とか・・・でも結局は「個」の集まりなんです。私たちは「チーム力を上げる」とか、「強い集団を作る」とか言いますが、チーム力を上げる根本は「個」のレベルを上げることだと思うのです。しかし、一人で「個」の力を上げるのは難しいことがあります。それは一つには、元来、人間が持っている特性によるものだと思います。人間は他人には厳しくなれても、自分にはついつい甘くなってしまう生き物です。例えば、買ってもらったばかりの自転車を人に貸して、その人が傷つけて

返したらどう思いますか？「この自転車は新車だぞ、何で傷つけたんだ。弁償しろ」と言いたいぐらい腹が立ちますね。では、自分が壁かなんかに自転車をぶつけて自転車を傷つけたらどう思いますか？他人に腹を立てるように自分に腹を立てますか。恐らく、落ち込んだり、せいぜい「買ってくれた親に何て言おうか」と思うぐらいでしょう。自転車が傷ついたという事実は同じなのに、他人と自分ではこんな沸き上がってくる感情は違うのですね。人間と言うのは面白いですね。人間の心の動きは複雑です。人間というのは元来、自分に厳しくしたり、自分を追い込んだり、自分を律したりすることが苦手な動物なのかなと思ったりします。私もそうです。ですから、「個」を鍛えるために集団の力を借りるのがいい方法です。例えば、家で一人では勉強できないけど、学校なら周りが勉強しているからはかどるということがあります。一人で100Mを走るよりも、何人かで走った方が周りに引っ張られて自分の力以上のものが出せる時もあります。学習合宿とか部活の合宿などはまさに集団の力を借りて「個」を伸ばすためにやっています。一人ではあんなに長時間勉強できないし、自分を追い込んだ練習もできないからです。

しかし、集団にも落とし穴があります。一つは道徳心が薄れるということです。「赤信号みんなで渡れば怖くない」という心理です。一人だったら赤信号を待つところを、もし誰かが「車も来てないし渡ろうぜ」と言ったら、みんなで渡るんだったらいいか、と思ってしまうのも人間です。また、集団でいると責任感が薄れます。これだけ人がいるんだから自分がさぼっても誰かするだろうと思ってしまうのも人間です。

「働きアリの法則」というのを聞いたことがありますか。働きアリと呼ばれるぐらいだから、みんなせっせと働いているだろうと思いますが、そうではないんですね。「働きアリの法則」は「2-6-2の法則」とも言います。アリの観察したことありますか。あの働きアリは全てが一生懸命に働いているのではなくて、一生懸命働いているのは2割、6割はボチボチ、2割はさぼっているらしいんです。では、一生懸命働いている2割だけ残すと全員が働くかということ、やっぱり「2-6-2」になる。今度はさぼっている2割だけにすると、みんなさぼったままかということそうではなくて、やはり「2-6-2」になるそうです。

これは人間の集団にも当てはまりませんか。「よし！皆で一致協力して何かやろう！」とすると、率先して頑張る2割、まあまあの6割、人も十分足りているし自分ぐらいはさぼってもいいかという2割。特に集団の数が多ければ多いほど集団や組織に逃げ込んで、個を消してしまう人もいます。同じ集団や組織にいるのに伸びる人と伸びない人がいるのは何でだろうと思います。それは能力の差ではなくて、意識の差です。自分がどういう意識でそこに属しているかで、「個」の伸びは全く違うということです。主体的に考え行動する2割なのか、受身的な6割なのか、人任せの2割なのか。口加高校はこの「2-6-2の法則」ではなく「10-0の法則」でいきたいんです。そうやって「個」のレベルを上げることで、もっと強いチームやクラスや学

校ができます。

明日から夏休みですが、いろいろな行事が目白押しです。吹奏楽コンクール、夏季補習、学習合宿や部活の合宿、家庭科技術検定の練習、オーストラリア研修、インターハイ、介護実習、ボランティア活動や韓国の釜山での語学研修に参加する人もいます。お盆明けからは体育祭の準備もあります。常に集団の中です。どうか「個」を鍛えるということを意識して、集団の一員になってみてください。

最後に、今日の長崎新聞に中学生の進路希望調査が載っていますので見てください。昨年以上に多くの中学3年生が、自分も口加高校生になりたいと思っています。間もなく口加高校は島原半島で合格するのが一番難しい学校になります。それはなぜか。先輩であるみんなに憧れている中学生が増えているからです。

「個」を鍛える夏に、それが今日の私からのメッセージです。秋には「個」を鍛え上げ、一回り成長した皆さんと会うのを楽しみにしています。では、また明日から顔晴ろう！！